



学会報告

Gordon Research Conference “Epigenetics -Mechanisms, Development and Disease

九州大学生体防御医学研究所・エピゲノム分野の一柳建司さん、一柳朋子さんに学会報告をして頂きました。

2011年8月7~12日に米国マサチューセッツ州 Easton の Stonehill College で開催された Gordon Research Conference (Chairs: Marisa Bartolomei, Craig Pikaard) に参加してきました。エピジェネティクス分野の GRC は初めてでしたが、他の分野と同じく最新の研究発表と活発な議論がなされ、とても刺激を受けました。

初日は夕食後に夜の講演が始まり、その後の日程は午前の講演、夕方のポスター発表、夜の講演の繰り返しで、計 56 の講演と 120 のポスター発表が行われました。日本人としては角谷徹仁 (遺伝研)、佐々木裕之 (九大)、望月一史 (Austrian Acad. of Sciences) の 3 先生が招待演者として最近の知見を話されました。学会直前にメールで発表者と演題のリストが届き、抄録集はないし、ポスター発表は著者のアルファベット順で二分割したのみという形式で、少々驚きつつもどんどん日程は過ぎていきました。

講演は最新の話が盛りだくさんで、学会直前に一流紙に発表された内容も多かったです。例えば、Tet タンパク質により 5-methylcytosine (5mC) が 5-hydroxymethylcytosine (5hmC) に変換される以外に 5-formylcytosine (5fC) と 5-carboxylcytosine (5caC) にも変換されるという Yi Zhang (Univ. North Carolina) の発表 (Science Express, 21 July 2011) は鮮やかでした。

また、Chris Vakoc (Cold Spring Harbor Lab.) はクロマチン制御に関連する 243 遺伝子の shRNA スクリーニングにより、BET ブロモドメインファミリーに属する Brd4 を急性骨髄性白血病の治療ターゲット候補として見つけ、その阻害剤 JQ1 が実際に有効であること発表して

いました (Nature, 3 Aug 2011)。Andrew Conery (Constellation Pharmaceuticals) が別のアプローチから同じ JQ1 にたどり着いたという発表があり、印象的でした。エピジェネティック薬剤の未来を感じました。

そして、大会を通して多かったのは植物や疾患関係の発表で、これらの分野の研究が活発に進んでいる印象を受けました。また、絨毛虫類のゲノム再編成とエピジェネティック制御に関するセッションがあり、興味深かったです。様々なエピジェネティック修飾の検出方法の開発や改善も多く発表され、エピジェネティクスに関するデータベースの長所をうまく組み合わせ活用することを呼びかけた発表 (NIEHS) も、GRC ならではの印象を受けました。

日本の学会に比べ女性の参加者がかなり多く、発言も積極的でした。お腹の大きな妊婦さんも 2、3 人見かけました。また Nature や Science の編集者が情報収集しており、論文発表の予備交渉の場になっていることも印象に残りました。今回は 200 人の参加者がいましたが、日本からの参加者は 8 人で少し寂しい印象を受けました。とても刺激的ですので、エピジェネティクス研究会の会員の皆様も積極的に参加されることをお勧めします。

最後の夕食ではロブスターが一人一匹ずつ配られてお腹いっぱいになりました。写真 (次ページ) は左から John Greally 先生 (Albert Einstein College of Medicine, AECM)、本会会員佐渡敬さん (九大)、そして一柳健司 (九大) です。また、その向こうに本会幹事の角谷徹仁先生 (遺伝研) が田丸尚先生 (Gregor Mendel Inst.) と一緒に写っておられます。写真は AECM の鈴木雅子さんの撮影によるものです。有り難うございました!



第6回エピジェネティクス研究会年会のお知らせ

2012年の年会は、牛島俊和幹事（国立がん研究センター研究所）を年会長に、「Breakthrough with new technologies」をテーマとして5月14（月）、15（火）の2日間、東京一ツ橋学術総合センターで開催されます。詳細が決まりましたら、またホームページ（<http://bsw3.naist.jp/JSE/index.html>）等でお知らせいたします。

情報を求めています！！

研究員・ポストドク募集および他の研究会のお知らせなど、ニュースレターを利用して公開してみませんか。年会に関するご意見・ご感想もよろしく願います。お近くの広報委員（中島欽一、牛島俊和、梅澤明弘、角谷徹二、古関明彦各幹事）に気軽にe-mailください。

日本エピジェネティクス研究会事務局

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科
分子腫瘍医学分野内
庶務担当幹事 湯浅保仁
担当：小澤良子
住所：〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
TEL:03-5803-5184
E-mail: jse.monc@tmd.ac.jp